

**研究課題：**当院における、胸腔鏡下先天性横隔膜ヘルニア根治術の適応と合併症についての検討

## 1. 研究の目的

先天性横隔膜ヘルニアは生まれつき横隔膜に穴があいている希少な病気で、生まれてすぐに呼吸や心臓の機能に影響を及ぼすため、専門的な全身管理や早期の手術を必要とします。手術には開腹による手術、開胸による手術、そして胸腔鏡による手術などがあり、患者様の状態によって最も適切な術式を、適切な時期に行うことが重要です。希少な疾患である先天性横隔膜ヘルニアの手術症例をまとめ、その病態や術後合併症について検討することは、今後の同疾患の治療成績を向上させるために必要です。

## 2. 研究の方法

2013年11月から2024年3月までに先天性横隔膜ヘルニアと診断された患者様が対象となります。診療録から、生まれたときの状態や体重、手術時期や術式、術内容、および術後の経過と合併症についての情報を調べまとめます。

## 3. 研究期間

2024年9月(倫理委員会で承認を得られた日)から2025年3月31日まで。

## 4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録から、生まれたときの状態や体重、手術時期や術式、術内容、および術後の経過と合併症を調べまとめます。画像(個人情報は一切含まない)が論文内に掲載されることがあります。

## 5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

## 6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター  
研究責任者：外科 科長 川嶋 寛  
研究分担者：外科 医長 竹添豊志子

## 7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025年1月31日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構  
埼玉県立小児医療センター  
医事担当（代表 048-601-2200）